

東南アジアへの進出



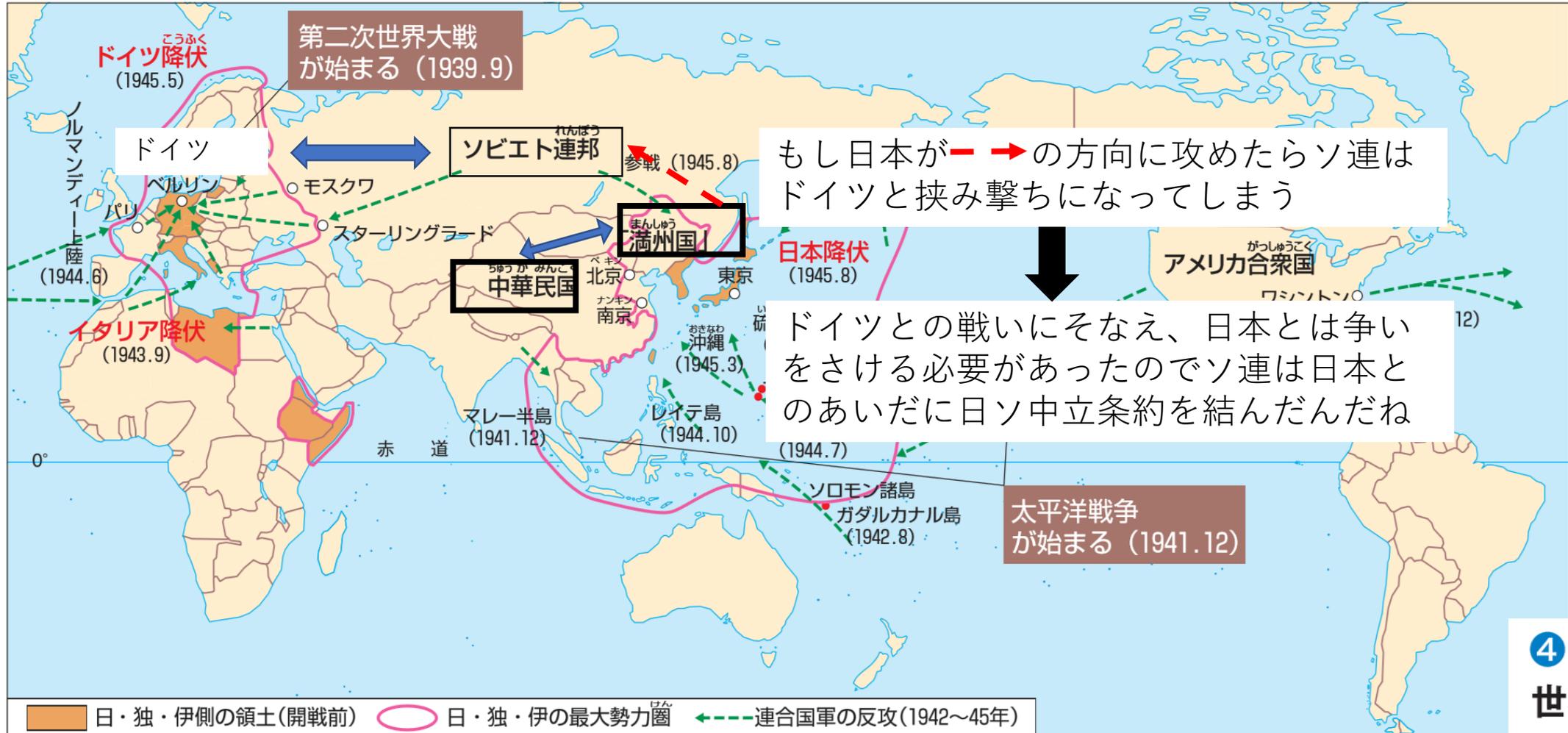
1937年に始まった日本と中華民国の日中戦争は長引き、日本の資源は底をつきかけていた

東南アジアにはヨーロッパやアメリカの植民地がたくさんあり、枢軸国の日本と対立していた連合国のアメリカやイギリスは中華民国を支援して石油など戦争に必要な資源をたくさん送った

東南アジアから石油など戦争に必要な資源を手に入れ、中国に資源が送られるのも阻止したい日本は東南アジアのフランス領インドシナ北部に侵攻。
ドイツと戦争中のソ連とのあいだに **日ソ中立条約** を結んだ。これで日本が南方（東南アジア）にさらに攻めても北からソ連に攻められないようにお互いの国を攻めない約束の条約を結び、東南アジアのフランス領インドシナ南部へ進軍した

③ 日本が確保しようとした東南アジアの主な資源

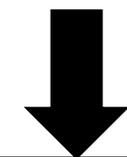
ソ連が日ソ中立条約を結んだ理由



ABCD包囲陣



日本に抵抗するために、アメリカを中心にイギリス・中国・オランダの4か国が石油などの資源を日本に輸出することを禁止。このような日本への経済封鎖を頭文字をとって**ABCD包囲陣**という



日本とアメリカ・イギリス・中国・オランダなどの国々との対立は深まった

太平洋戦争

1941年11月



① 日米交渉 (1941年) 11月, 両国の代表者は, 最後の交渉にのぞみました。

1941年12月8日
アメリカのハワイ
真珠湾を奇襲攻撃



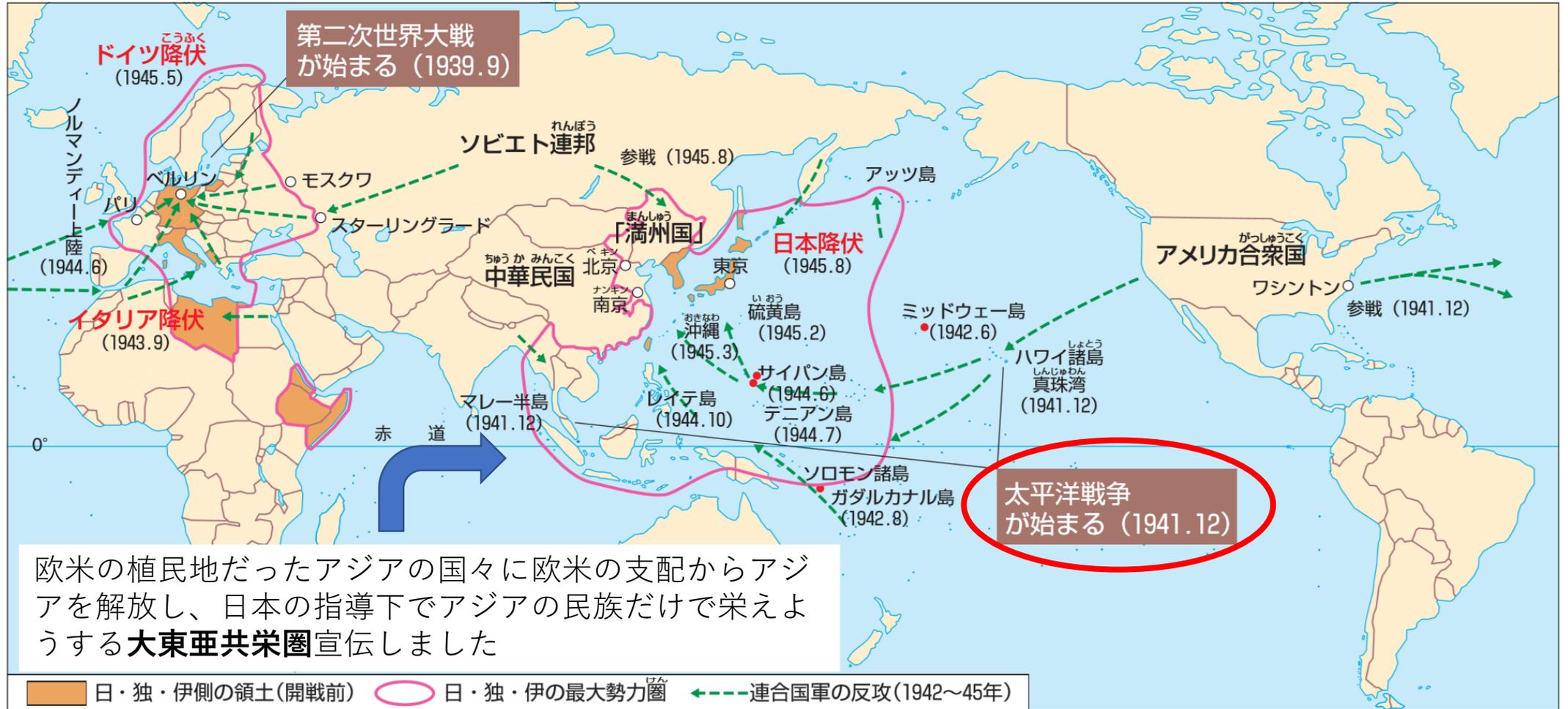
⑥ 真珠湾攻撃 (1941年) 日本軍の攻撃で, アメリカ軍の戦艦が燃えています。日本の交渉打ち切りの通告が攻撃後になり, アメリカの国民は「リメンバー・パールハーバー」の合い言葉のもとで団結しました。



石油の輸入の8割をアメリカにたよっていた日本はアメリカに交渉。
アメリカは日本軍の中国・東南アジアからの撤退と日独伊三国同盟の破棄を求めるが、日本の首相であった**東条英機**はこの条件をのまず、交渉は決裂。

アメリカとのあいだに**太平洋戦争**が始まる

大東亞共栄圏



④ 第二次世界大戦